

【様式①】令和6年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立長森西小学校

校長名 棚橋 英生

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートに限らず、ICT機器の積極的活用や、学級担任と教科担任の連携を丁寧に行うことで、「楽しい、わかる」授業にする。 ・読書活動を通して本に親しむと同時に、語彙力や表現力の向上をめざす。朝読書やボランティアによる読み聞かせ等の活動を充実させる。 ・職員児童保護者による学校評価アンケートを行い検証を行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の授業が、「楽しい」「わかりやすい」と感じていると回答した児童、83%。 ・学習したことが、授業(少人数学習)や、ドリル、タブレット利用で確実に身につけていると回答した児童、85%。 ・タブレット端末を活用し、仲間と情報を共有したり、自分の考えを分かりやすく伝えたりする児童が増えた。話す書くが苦手だった児童が、ICTを使うことで「表現」ができるようになった。 ・保護者に読み聞かせを勧め、文章を理解する力が少しずつ高まったと感じる家庭もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートは非常に有意義。具体的にどのように使われているのかわかるために、保護者と一緒にやる課題があっても良い。 ・タブレットを一人一人の児童が活用して楽しく授業に取り組んでいる。しかし、タブレットの使いすぎによる目の疲労、姿勢の悪さなどに悪影響がある。 ・教科担任制は、児童に担任とは違う緊張感を与え、また、高学年に関して中学での教科担任制の下準備的な役割があり素晴らしい。さらに、各学年の先生方がクラスの垣根を超え、学年全員を教育・指導できる事は、偏りが少なくなりかつ児童の様々な情報の共有は大きな意義がある。 ・図書の本の話や家庭でもする程、本を身近に感じている。朝読書は子ども達の生活に良い影響がある。 ・毎朝の読書、読み聞かせ等の活動を年単位で行うなど、継続的取り組みは大変良い。6年間と考えると大きな力になり習慣の定着、意義はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、ロイロノートに限らず、ICT機器の効果的な活用について検討し、その有効性等を保護者にも発信していく。 ・家での読書時間が増えるような取組を工夫し、読書活動のさらなる充実を図る。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市の上前講座やボランティア(地域ティーチャー)の活用により、地域と関わったりリアルな体験の充実を図る。 ・スマート連絡帳により行事や活動の情報発信を積極的にする。 ・支援推進委員会の各部会やPTAとの連携をとり、「チーム学校」として協力し合い、よりよい教育活動のための環境をつくる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域との可能な協働活動を工夫し地域に開かれた学校運営をしていると回答した保護者、95%。 ・地域の方が手伝ってくれる授業や行事は、普段と違うことが学べ、楽しいと感じていると回答した児童、87%。 ・約60名の保護者等が「地域ティーチャー」として、読み聞かせや水泳授業の見守り、校外学習の引率等を行うことで、学習支援や安全確保につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の行事や上前講座を積極的に計画、実行しているため、児童には生きた教育活動となっている。 ・学外講師の方の話は子ども達も楽しく聴いている。日常と違う体験は記憶に残る。 ・西フェスや地域の体験はすごく楽しく、学校へ行くことがわくわくしている様子だった。 ・スマート連絡帳に関して、積極的な発信があり活用は十分されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート連絡帳に関して、さらなる情報発信を望む声や、その逆に連絡が多過ぎるとの声もある。また、閲覧していない方への対応も必要となる場合もある。情報発信について、効果的に伝えるよう工夫していく。
あたたかさど働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「働きやすい環境」という視点で、ハラスメントやメンタルヘルスの研修を通して感覚を磨き、同僚性につなげる。 ・校務システムによる勤務時間を各自が把握してより良いワークライフバランスを意識した働き方を創る。 ・会議や提案の効率化を図り、コミュニケーションの時間を生み出すと共に、課題解決に向け協働できる良好な人間関係の構築に取り組む。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務の適正化に向け、業務内容の見直し、ICTや業務支援員の活用、また、生徒指導支援は、補助的にほへえみ相談員やSC等多様な方面からの支援を受け、「チーム学校」を目指す中で、教職員のやりがいと働きがいにつながった。 ・情報共有するだけでなく、組織として同じ方向を向き、日頃の「報・連・相」や互いに歩み寄ること、互いに気遣うこと、相談しやすい雰囲気づくりに努めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生の働き方改革の推進は、大変重要な課題。まずは、できることから取り組んでいくことがよい。また、職員間の共通認識がなくては実現できない。大胆な発信で取り組んでいただきたい。 ・すべての教科を担当が行う必要もないと考えており、状況に応じて臨機応変な対応は必要。したがって業務の平準化や削減は推進すべきと考える。 ・良好な人間関係の構築は、大変重要と考え、働きやすい職場環境の構築は、いずれ児童へ影響があると信じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「働きやすい環境」で、自らの人間性や創造性を高め、授業を磨き、子どもたちと笑顔でかわかるとの「働きがいのある環境」をめざす。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・相談しやすい「風通し」のよい職場づくりを心掛け、子どもたちの安心・安全のための見届けや見守りにつなげていく。 ・「命の大切さ」の学びを、教育の場にとどまらず、地域にも発信し、学習の様子も共有しながら、地域全体で「自他を大切にす心」、「人権感覚の育成」につなげていく。 ・学校に限らず、我々大人が「命」の大切さを自覚する必要があり、地域全体で見守るための啓発活動を活発化する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の風通しは年々良くなっている。今後も、予定や予定変更を関係する職員へ丁寧に連絡し合えるようにしたい(自校反省より) ・学校とPTAや地域が連携し、子どもが安全に生活できるように考え取り組んでいる(交通安全、防犯、防災、情報モラル、見守り隊など)と回答した保護者、94%。 ・道徳の授業やこぼかの日や人権週間などいじめや人権を考えることで、仲間を思いやることを学んだり、自分を大切にすることを考えたりしていると回答した児童、93%。 ・こたんやアンケートを利用した、悩みの見える化による未然防止や早期対応につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方やボランティアの登下校の見守り活動やこぼかの取り組み等、安全や人権について考えている。 ・緊急下校の訓練など、実際に想定した動きを確認する等の取り組みがあり良かった。インフルエンザ等の集団感染では学級閉鎖にするタイミングも早く、広がる前でも良かった。 ・困ったときには、先生に相談できることは大切なこと。そのために生徒と教師の信頼関係の構築は欠かせない。「風通し」の良い環境づくりは大切なことと思う。 ・人権、道徳等での対応も、十分実行されていると感じており、「人権に関する作文」において多数の入賞者が選ばれたことが、その指導、教育の結果である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、安心・安全のため、常日頃から地域全体で子どもたちを見守る。 ・こたんやアンケートを利用し視覚化された個々の悩みの対応を充実させる。 ・緊急時、地域の方や保護者への協力体制の確立をめざす。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化への対応として、教育的効果の向上や教科の専門性を生かした視点で備品等を整備する。また、複数の関係者で検討、管理・補充を行い、有効活用する。 ・校内における安全点検を確実に進行。管理及び定期点検により危険箇所の早期把握と早期修繕を推進する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化を踏まえ、複数の関係者で検討、管理、補充を適切に行った。 ・熱中症対策として、空調管理や設備の老朽化への対策・遊具のけが等防止対策を行った。 ・PTAや地域ボランティアと連携して子どもたちの安全・安心な環境整備を行うことができた。 ・校内における安全点検を確実に進行し、危険、修繕箇所への素早い対応ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTやDXのおかげで、子どもたちの学んだこと、学び方は今後の財産になる。 ・できれば順次トイレの改修をしたい。体育館等の施設が整備され、夏も安心して使用できている。 ・危険箇所の対応に関しても把握し、改善の行動、対応がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境、学校財務環境に関しては、保護者の力(専門性)を利用してさらなる環境の充実を図る。

HPアドレス:

長森西小HP <http://gifu-city.schoolcms.net./nagamori-w-e/>